

暑さがしのぎやすくなりました。秋の気配も感じられるよう、「中秋の名月」月見だんごとススキの風景が見られてきました。皆さんのところはいかがでしょう。

さて、学会が多く開催されております。9月16、17日の産業保健法学会 第3回学術大会が近くで開催だったので現地参加しました。テーマが「第四次産業革命と産業保健制度」10年後の近未来図のストーリーを素材に、AIも含めて考えさせられるこの先の産業保健のあり様、現場の流れを意識する内容、学びの日でした。

「労災認定された精神障害からの社会復帰」のシンポジウムには衝撃的でした。請求件数及び認定件数が過去最高に更新されているが、労災と認定され労働者の社会復帰が進んでいない現状が大きな課題になっているとの内容、治療が長引き、働く能力を失う状況も見られるという。労災認定された労働者の背景にもよるでしょうが、症状固定ができにくい、誰が働くことを勧めるのか、タイミングなど様々な課題があることを知らされた。知らなかった実情、労災という獲得したい意味での本人へのプラスの思いも、現状はまさかの状況がいろいろあった。うまく伝えられないですが、本当に考えさせられる実態でした。(菅野)

目次

- 1 新型コロナワクチンに係る自治体向け通知・事務連絡等
- 2 独立行政法人労働者健康安全機構 産業保健調査研究発表会（令和5年度）抄録
- 3 IDES コラム vol.73「地域での感染症対策 ミクロからマクロまで」
- 4 関連情報

1 新型コロナワクチンに係る自治体向け通知・事務連絡等

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=M9TWw1OylcZNVZehY>

自治体向け説明会

▷[第29回自治体向け説明会](#)（令和5年9月12日）**NEW**

第29回 新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体向け説明会 資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_35183.html

○議事概要

1. 開会
2. 議題（1）新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保について
（2）各ワクチンの取扱いについて（ファイザー社、モデルナ社、武田社）
3. 質疑応答
4. 閉会

○配付資料

【資料1】[新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保について\(29\)](#)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001145227.pdf>

【資料2】[各ワクチンの取扱いについて（ファイザー社、モデルナ社、武田社）](#)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001145395.pdf>

<参考までに>

○ファイザー株式会社の新型コロナワクチン（オミクロン株対応2価ワクチン）の供用終了について

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E_QPvgLa0g6PGjyBY

○ファイザー株式会社の新型コロナワクチン（従来株ワクチン）の供用終了について

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3SPPoJaUo4Pmr8BY>

○モデルナ・ジャパン株式会社の新型コロナワクチン（オミクロン株対応2価ワクチン）の供用終了について

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3SPPoJaUo4Pmr4BY>

2 独立行政法人労働者健康安全機構 産業保健調査研究発表会（令和5年度）抄録

https://www.johas.go.jp/sangyouhoken/sanpo_chosa/tabid/2345/Default.aspx

○和歌山 和歌山県における災害に対する企業の事業継続能力に関する調査研究：10年後の様相 抄録

https://www.johas.go.jp/Portals/0/data0/sanpo/kadai/pdf/R5_sanpo_kenkyu_wakayama.pdf

○大阪 コロナ禍における事業場とメンタルヘルス専門医療機関との連携促進に関する調査研究 抄録

https://www.johas.go.jp/Portals/0/data0/sanpo/kadai/pdf/R5_sanpo_kenkyu_oosaka.pdf

○福岡 介助作業評価法日本語版 MAPO インデックスの信頼性と妥当性の検証 抄録

https://www.johas.go.jp/Portals/0/data0/sanpo/kadai/pdf/R5_sanpo_kenkyu_hukuoka.pdf

○山口 林業従事者の傾斜地作業負荷測定方法開発のためのパイロット研究 抄録

https://www.johas.go.jp/Portals/0/data0/sanpo/kadai/pdf/R5_sanpo_kenkyu_yamaguti.pdf

○岡山 溶接作業におけるマンガンばく露と防じんマスク効率に関する調査研究 抄録

https://www.johas.go.jp/Portals/0/data0/sanpo/kadai/pdf/R5_sanpo_kenkyu_okayama.pdf

3 IDES コラム vol.73「地域での感染症対策 ミクロからマクロまで」

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=0zTPfsIaEs5P2slBY>

感染症エクスプレス@厚労省 2023年9月19日

※感染症危機管理専門家（Infectious Disease Emergency Specialist（IDES）

IDES 養成プログラム9期生：松平 慶

国内外での人の往来が活発になった今夏、田舎に家族で帰省した方や久々の海外旅行に飛び立った方もいるかと思いますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は今年4月より IDES 養成プログラムでの勤務を開始し、まず厚生労働省本省での感染症危機管理業務を研修させていただきました。今年5月の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の五類感染症への移行から、次なる新興感染症対策を厚生労働省で逐次進めています。改正感染症法に基づく予防計画策定に向けてのガイドラインを各都道府県に

今年5月に公表し、また医療 DX 推進として感染症対策のデジタル化や新感染症サーベイランスシステムの運用を進めております。また、国際案件としては、G7 広島サミットの現地医療対策本部での感染症対策のリエゾンや一類感染症疑い患者発生時の対応フローの構築、国際保健規則に基づく各国や WHO との対応を経験しております。

さて、前職の東京都では、自治医科大学の卒後、離島（伊豆諸島、小笠原諸島）、山間部（奥多摩）での地域医療勤務を経験し、2020 年から東京都の公衆衛生医として主に島しょ保健所での COVID-19 対策などの健康危機管理業務、また、オリンピック・パラリンピック開催時の COVID-19 対応に携わっていました。

地域での感染症対策について、臨床医としては「感染臓器」「微生物」「抗菌薬」の感染症の三角形の視点を意識するとともに、感染症の分布や人口、地理、気候、文化、交通路等を含めた「地域特性」、また地域の保健医療の人的・物的資源が限られる中での「保健医療資源」を踏まえて診療することが重要と実感しています。

例えば、伊豆諸島では、古来より七島熱と称されていたつつが虫病が分布し、台風や梅雨の影響で1週間以上、交通路が途絶えることがあるなどの「地域特性」があります。

また、小笠原諸島では、サルモネラ菌の環境中の分布が報告されており、動物由来感染症の普及啓発を保健所を中心に連携して行っている「地域特性」があり、また週1回24時間の船便が唯一の交通路のため、島への食料品・医薬品の搬入、また本土への患者搬送・検体輸送も週1回となる「保健医療資源」の特性もあり、地域のマイクロからマクロまで捉えて感染症対策を行う必要を実感しました。培養検体や PCR 検体等を本土の検査機関に送付する必要がある時間を経るため、病歴・身体所見・グラム染色といった臨床医としての基礎のスキルが武器となりました。(続く)

4 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

(1) 大臣会見等 ・令和5年9月14日付大臣会見概要

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=V7BMjbb4l5mjZ4nFY>

閣議等について

大臣：昨日、厚生労働大臣を拝命しました武見敬三です。

国民の生活を生涯にわたって支える厚生労働行政を担当することになりました。改めてその責任の重さを感じているところです。新型コロナウイルス感染症への対など、感染症対策の強化、更に安心安全なマイナ保険証を含む医療 DX、医療介護福祉の向上に確実に取り組んでまいります。また、持続的な賃上げの実現に向けて、リスキリングによる能力向上支援、そして多様な人材が活躍できる環境整備に取り組みたいです(続く)

(2) 令和5年「老人の日・老人週間」の実施について

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=7Qr1oxkCCbkYLCR_Y

(3)「第 61 回 労働政策審議会雇用環境・均等分科会」(ハイブリット会議) 開催案内
<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=-R7IVOgwOORl8OhrY>

◇ J I L P T から

(1) 記者発表「企業の賃金決定に係る調査」(企業調査) 結果

JILPT は 15 日、「企業の賃金決定に係る調査」(企業調査) 結果を記者発表しました。現在の企業収益(3 年前比)は、「減少」傾向が 5 割前後で、「増加」傾向は 3 割前後。今後の収益見通しは、「増加」は 6 割で、「減少」は 3 割。過去 1 年間の価格転嫁の状況は「全く価格転嫁出来ていない」が 3 割でした。

賃上げ(定期昇給・ベースアップ)実施企業は、2021 年、22 年とも 9 割以上を占め、賃上げ実施の理由は、「社員のモチベーションの向上、待遇改善」が 7 割弱でトップ、「最賃引上げへの対応」「社員の定着・人員不足の解消」が 4 割、などが分かりました。

<https://www.jil.go.jp/press/documents/20230915.pdf?mm=1900>

(2) 中小企業の健康経営・福利厚生制度など調査/民間調査

アクサ生命保険は 4 日、全国の中小企業経営者を対象に実施した、健康経営や福利厚生制度に関するアンケート調査結果を発表した。従業員の健康づくりを重要な経営課題と位置づけ、生産性や企業価値の向上につなげる「健康経営」について、「内容を知っている」経営者は約半数(46.8%)。従業員のこころの健康をサポートするために取り組みたいことは、約 6 割が「ストレスチェックの実施」と回答。一方で、実際にストレスチェックを「実施している」企業は約 1 割に留まっている。

<https://www2.axa.co.jp/info/news/2023/pdf/230904.pdf>

(3) 非正規雇用労働者の働き方・意識調査結果を HP 掲載/連合総研

連合総研は、「非正規雇用労働者の働き方・意識と労働組合に関する調査」報告書をホームページに掲載した。民間の非正規雇用労働者 2,500 人(組合員 500 人、非組合員 2,000 人)を対象に、就業状況や職場環境の実態、公的年金や社会保険の加入状況、非正規労働に関するルールの認知、コロナの影響等について 2022 年 11 月に実施したアンケート調査結果をまとめたもの。労働組合・NPO・団体に対するインタビュー調査も実施し、非正規雇用労働者に関する取組内容を紹介している。

(アンケート調査結果)

<https://www.rengo-soken.or.jp/work/2023/08/311630.html>

(インタビュー調査結果)

<https://www.rengo-soken.or.jp/work/2023/08/311700.html>

(4) 23 年度の規制改革要望、「人の活躍」など 4 本柱で 66 項目/経団連

日本経団連は 12 日、「日本経済にダイナミズムを取り戻す」と題した 2023 年度の規制改革要望を発表した。「GX・サーキュラーエコノミー」「DX」「人の活躍」「成長産業の振興(ヘルスケア・バイオ、モビリティ)」を柱に 66 項目の規制改革要望を取りまと

め。「人の活躍」については、主体的なキャリア形成の促進や多様な働き方の実現を図るため、「副業・兼業の推進に向けた割増賃金規制の見直し」「介護の両立支援等に資する深夜労働の割増賃金規制の見直し」などを求めている。

<https://www.keidanren.or.jp/policy/2023/061.html>

(5) 労働政策フォーラム「企業で働く人の社会貢献活動と生涯キャリア」

(Zoom ウェビナー・オンライン開催)

日 時：9月23日(土曜)～27日(水曜) ※ライブ配信は27日14時～
本フォーラムでは、学識、企業、NPOの関係者を招き、実践の取組事例を交えながら、「人生100年時代」において豊かな生涯キャリアを築いていくための環境整備のあり方や課題について議論します。

https://www.jil.go.jp/event/ro_forum/20230927/index.html?mm=1900

(6) 「2024年問題」を乗り越えるための働き方改革解説セミナー(前編) / 東商

東京商工会議所では講座「未対応企業必見! 「2024年問題」を乗り越えるための働き方改革解説セミナー(前編)」をオンライン配信で開催する。「働き方改革関連法改正・2024年問題の内容」、「働き方改革の必要性」について解説する。配信期間は10月2日(月)～10月31日(火)。参加無料。10月24日(火)までに、HPより申し込む。

https://myevent.tokyo-cci.or.jp/detail.php?event_kanri_id=202457

(7) 「うつ病休職者の職場復帰支援を考えるフォーラム」 / 東京都

東京都は10月25日(水)、「第16回うつ病休職者の職場復帰支援を考えるフォーラム：職場のメンタルヘルス再考ー働き方改革の導入、ポストコロナに向けてどう変わってゆくのかー」を杉並区とオンラインで開催する。定員は会場180名、オンライン200名。参加無料。要事前登録、締切は10月17日(火)。

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/chusou/kouenkaiboshu/16ustu.html>

◇ 保健指導リソースガイド | メールマガジン から

(1) ウォーキングの歩数を8000歩に増やして肥満や糖尿病に対策

横浜市「ウォーキングポイント事業」の成果を発表

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/h7cfkpy4a7r8/cntht64v/>

1日に1万歩以上歩いている人は、糖尿病の発症リスクが62%、重症化リスクが67%低いことが、横浜市が実施している「ウォーキングポイント事業」で明らかになった。「1日の平均歩数が8,000歩を超えるあたりから、2型糖尿病の発症率と重症化率に差が出てきました。現状の歩数よりも、1,000～2,000歩を多く歩くようにすると、効果を期待できます」と、研究者は述べている。

(2) 健保連の特定健診実施率は8割近く、特定保健指導終了者は3割

健保連「2021年度 特定健診・特定保健指導の実施状況」公表

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/ctu8z1w2f6kp/cntht64v/>

対象者は1,122組合の970万5,473人で、対前年度比1.0%の増加。受診者数は764万8,223人と2.2%の増加。前年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響などから低下したが、実施率は78.8%と対前年度比で1.0ポイント上昇した。

(3) 【サンプル提供】セルフチェックで間食習慣の課題が見つかる！

「間食ルールブック」&「バルスイート（R）カロリーゼロ」（提供：味の素株式会社）
「間食ルールブック」では、「量」「食べ方」「選び方」の3つのポイントから、対象者が自ら間食習慣を振り返ることができます。最後には「間食のマイルール」が設定できるため、行動目標を確認しながら対象者自身での食事管理を上手に促します。

先着順1,000名様まで！申込み受付中 ▼締切：2023年10月4日（水）正午

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/hpflh9dfq8u2/cntht64v/>

<<<★お申込みはこちら>>>

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/hpflh9dfq8u2/cntht64v/>

◇ 【From_M】 から 情報提供有難うございます

◆2023年9月15日

新型コロナウイルス感染症の令和5年10月以降の医療提供体制の移行及び公費支援の
具体的内容について [837KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/001147051.pdf>

【参考】新型コロナウイルス感染症に関する10月以降の見直し等について [5.1MB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/001147042.pdf>

◆第56回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会・第79回厚生
科学審議会感染症部会 資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_35153.html

○議題

第一部（単独開催）

- (1)匿名感染症関連情報の第三者提供に関する有識者会議の提言について（報告）
- (2)新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の罹患後症状について（報告）
- (3)新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染状況及び取組状況等について

第二部（合同開催）

- (4) 風しんの追加的対策の現状について
- (5) 今シーズンの季節性インフルエンザワクチンについて

○資料一覧

議事次第及び委員名簿 [PDF形式：145KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001146451.pdf>

【資料1】匿名感染症関連情報の第三者提供に関する有識者会議の提言について（報告）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001146452.pdf>

【資料2】新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の罹患後症状について

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001146453.pdf>

【資料3】新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染状況及び取組状況等について

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001146454.pdf>

【資料4】風しんの追加的対策の現状について

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001146455.pdf>

【資料5】今シーズン（2023/24）の季節性インフルエンザワクチンについて

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001146456.pdf>

○参考資料

【参考資料1】匿名感染症関連情報の第三者提供に関する有識者会議の提言

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001146464.pdf>

【参考資料2】NDB等のガイドライン

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001146457.pdf>

【参考資料3】2022年度新型コロナウイルス感染症に対する血清疫学調査報告

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001146458.pdf>

【参考資料4】新型コロナウイルスの抗体保有率実態調査結果について

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001146461.pdf>

【参考資料5】風しんについて（報告数の年次推移）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001146459.pdf>

◆理想と実際の睡眠時間に差があると…「うつ」増加傾向、過労死白書の原案判明

<https://www.yomiuri.co.jp/politics/20230912-OYT1T50270/>

政府の2023年版「過労死等防止対策白書」の原案が判明した。就業者の睡眠時間とうつ病などの関係について初めて調査・分析した。自身の理想と実際の睡眠時間の差が大きくなるにつれ、「うつ傾向・不安」や「うつ病・不安障害の疑い」のある人が増える傾向にあることが明らかになった。

○白書原案のポイント

・ <https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20230912-OYT1T50270/20230912-249-oyt1i50185-1-jpg/>

◆うつ病「悪化」の労災認定、範囲広がる 「極度の負荷」なくても救済

<https://www.asahi.com/articles/ASR9C65XYR9CULFA003.html>

○精神障害の労災申請と支給件数の推移

<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20230911002428.html>

仕事が原因でうつ病などの精神障害を発症した場合に、労災認定する基準が12年ぶりに改正された。中でも、認定のハードルが高いとされた「症状の悪化」時の基準が緩和され、救済される範囲が広がることになる。しかし、実際には行政の運用次第という面もあり、どこまで認定が広がるかには不安の声があがる。

小野田 富貴子 (両立支援担当)

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤 (メンタルヘルス担当)

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子 (メンタルヘルス担当)

yukikan28@gmail.com